

平成17年6月13日

株式会社

様

(財) 日本食品分析センター 多摩研究所
安全性試験課

(試験担当:)



TEL 042-372-6708

FAX 042-372-6857

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

ご依頼いただいております「強電解水」(受付番号: 第205051912号)のウサギを用いた皮膚一次刺激性試験及び眼刺激性試験が終了いたしましたので、結果をご連絡申し上げます。

敬 具

記

1. 皮膚一次刺激性試験

約2 cm×3 cmに裁断したガーゼパッチに検体0.5 mLを均一に塗布し、ウサギ1匹の無傷及び有傷皮膚の各1箇所ずつに4時間閉鎖貼付した。その結果、除去後1時間に無傷及び有傷皮膚で非常に軽度な紅斑が見られたが、24時間に消失し、その後刺激反応は見られなかった。

Federal Register(1972)に準拠して求めた一次刺激性インデックス(P. I. I.)は0.3となり、ウサギを用いた皮膚一次刺激性試験において、検体は「無刺激性」の範疇に入るものと評価された。

2. 眼刺激性試験

ウサギ1匹の片眼に検体を0.1 mL点眼した結果、点眼後1, 24, 48及び72時間の各観察時間において刺激反応は見られなかった。

Draize法に従って算出した観察期間中の合計評点の最高値は0であった。

以上の結果から、ウサギを用いた眼刺激性試験において、検体は「無刺激物」の範疇にあるものと評価された。